

国連総会におけるミレニアム開発目標（MDGs）に関する閣僚級非公式会合 （概要と評価）

1. 概要

- （1）9月21日（水）（ニューヨーク現地時間）、国連総会の機会に、MDGs 閣僚級非公式会合を開催。各国政府、国際機関、民間団体、NGO等から、総勢400名が参加。
- （2）まず玄葉大臣から、開会挨拶に続き本年6月に東京で開催したMDGs フォローアップ会合の成果を報告し、国際社会に共有した。また、ゲイツ財団との画期的な連携によるパキスタンでのポリオ対策等、MDGs 達成に向けた我が国の取組について発表した。
- （3）続くパネル・ディスカッションでは、UNDP のクラーク総裁が司会を務めた。バングラデシュのモニ外務大臣ら各国代表やレーク UNICEF 事務局長、アティンク世銀副総裁らに加え、民間セクター（ゲイツ財団）やNGO（セーブ・ザ・チルドレン）が、2015年までのMDGs 達成に向けた残り5年間の取組を強化する決意を述べるとともに、多様な開発の担い手に対し連携を呼びかけた。

2. 評価

- （1）MDGs 達成に向けたモメンタムの維持・強化が図られ、人間の安全保障や格差是正を重視し国際社会におけるMDGsに関する取組や議論を積極的にリードしていくとの我が国の姿勢をアピールすることができた。このような我が国のリーダーシップは、多様な参加者から高く評価された。
- （2）地域や経済発展の度合いによってMDGs 達成に向けて様々な課題があることが改めて明らかになり、今後の取組を加速させる方途や2015年以降の国際目標のあり方についても示唆に富む議論が行われた。多様な開発の担い手の間での連携強化や、他の国際的なフォーラムでの議論の活性化につながる会合となった。

（参考1）ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals)

1990年代に開催された主要な国際会議等で採択された国際開発目標や、2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された「国連ミレニアム宣言」を統合し、開発分野における国際社会共通の目標として2001年にまとめられた。8つの目標（極度の貧困と飢餓の撲滅や、乳幼児死亡率の削減等）の下、21のターゲットと60の指標を設定。2015年が達成期限。

（参考2）第66会期国連総会 MDG 閣僚級非公式会合

バングラデシュ、ルワンダ、セネガル、南アフリカ、ベトナム、ザンビア、UNDP、UNICEF、及び世銀との共催で、国連総会のサイドイベントとして、MDGs 達成に向けた取組の加速化をテーマに開催。MDGs 達成に向けたモメンタムの維持・強化を、我が国がリードしている。

（参考3）MDGs フォローアップ会合

UNDP、UNICEF、世界銀行、JICA との共催で、2011年6月2-3日に閣僚級の会議を東京で開催。110か国以上、20の地域・国際機関、国内・国際NGO、民間セクターなど計300名以上が参加。MDGs 達成に向けて真に効果的な手法や、達成期限である2015年以後の国際目標のあり方についても議論した。議論の内容は議長声明として発出された。